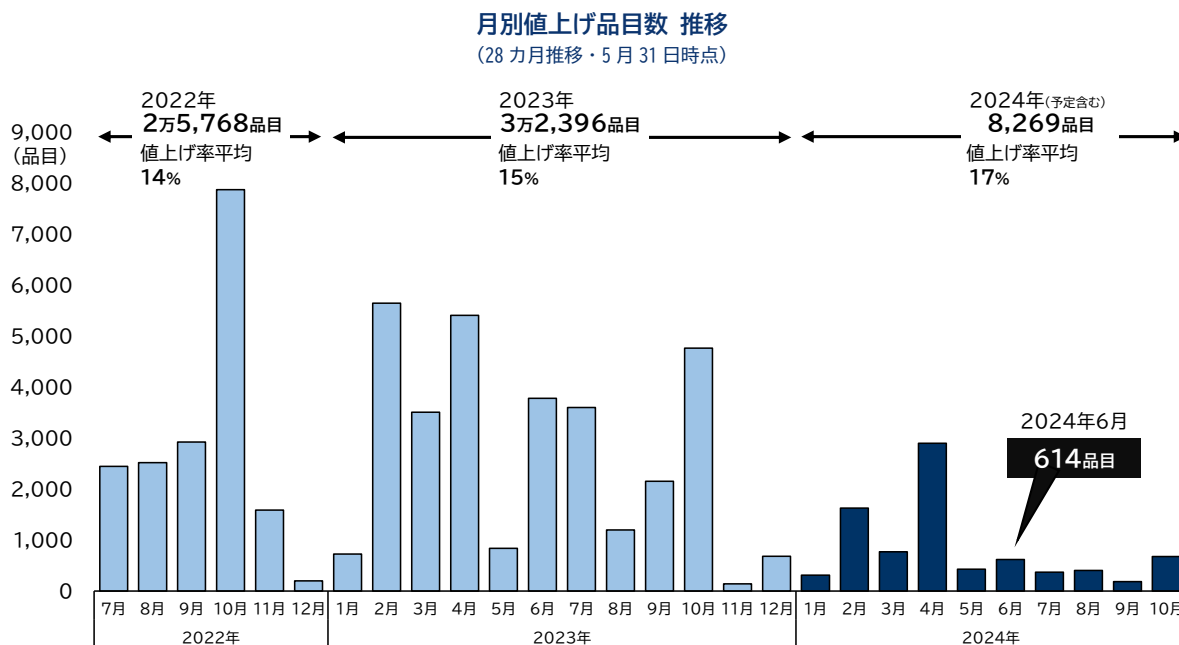


定期調査：「食品主要 195 社」価格改定動向調査—2024 年 6 月

6 月の食品値上げ 614 品目

「円安値上げ」全品目の 3 割に拡大 海苔製品で一斉値上げ

帝国データバンクは、2024 年 6 月以降における食品の値上げ動向と展望・見通しについて、分析を行った。



【注】 調査時点の食品上場105社のほか、全国展開を行う非上場食品90社を含めた主要195社の2022-24年価格改定計画。実施済みを含む。品目数は再値上げなど重複を含む

次回の調査発表日は、2024 年 6 月 28 日(金)午前 9 時

調査結果 (要旨)

- 6 月の食品値上げは 614 品目 「円安値上げ」全品目の 3 割に拡大
- 6 月の値上げ、加工食品が最多 329 品目 海苔製品で一斉値上げ
- 「円安値上げ」が顕在化 年後半にかけてさらに拡大する可能性

株式会社帝国データバンク 情報統括部長 藤井 俊

【問い合わせ先】 飯島 大介 03-5919-9343 (直通) daisuke.iijima@mail.tdb.co.jp

情報統括部：tdb_jyoho@mail.tdb.co.jp

当レポートの著作権は株式会社帝国データバンクに帰属します。

当レポートはプレスリリース用資料として作成しております。著作権法の範囲内でご利用いただき、私的利用を超えた複製および転載を固く禁じます。

6月の食品値上げは614品目「円安値上げ」全品目の3割に拡大

主要な食品メーカー195社における、家庭用を中心とした6月の飲食料品値上げは614品目を数えた。大規模な値上げラッシュとなった前年同月（3775品目）に比べて3161品目・83.7%減と、6カ月連続で前年同月を下回ったほか、2カ月連続で1千品目以下の水準にとどまり、値上げ沈静化の傾向が続いた。また、値上げ1回あたりの平均値上げ率は6月単月で16%となり、22年以降で最高だった前月（31%）を大きく下回った。

2024年通年の値上げ品目数（予定含む）は10月までの累計で8269品目となり、年間の平均値上げ率は17%となった。なお、23年の値上げ予定品目で8千品目到達が判明したのは22年12月時点だったのに対し、24年分では同年5月と、前年より5カ月遅いペースだった。

2024年の値上げ要因では、足元で急速に進んだ「円安」の影響が広がった。24年（1-10月）に予定される値上げ品目のうち、「円安」要因の値上げは品目数ベースで29.2%となり、前年の同時期（11.5%）に比べて約3倍の水準に拡大した。要因として最も大きい「原材料高」は90.7%を占め、特に春以降の値上げで原材料高の影響が広がった。猛暑や干ばつなど天候不順による不作で、カカオ豆やコーヒー豆、オリーブ、オレンジなどの輸入果汁で価格高騰が目立った。国産食材でも、不作により海苔製品を中心に価格を引き上げたケースもみられた。

6月の値上げ、加工食品が最多329品目 海苔製品で一斉値上げ

2024年6月の値上げは「加工食品」が全食品分野で最も多い329品目だった。中でも、味付け海苔など「海苔製品」の値上げが目立った。カカオ豆の価格高騰の影響は、「菓子」（138品目）ではチョコレート製品に、「酒類・飲料」（28品目）ではココア製品などにみられた。酒類・飲料では他にも、オレンジ果汁を使用したジュースなども値上げとなる。「乳製品」（80品目）ではアイスクリーム類の値上げがみられた。

なお、7月以降は「パン」が、輸入レーズン等の価格高騰を受け一部製品で1年ぶりの値上げとなるほか、「酒類・飲料」ではワイン・ウイスキーなど輸入洋酒で値上げとなる。

値上げ要因の推移（品目数ベース）

	2024年		2023年
	1-10月	1-10月	通年
原材料高	90.7%	95.8%	95.9%
エネルギー	59.3%	80.3%	80.6%
包装・資材	65.8%	61.2%	60.6%
物流費	60.3%	57.5%	58.3%
円安 (為替の変動)	29.2%	11.5%	11.4%
人件費	25.7%	8.8%	9.1%

[注] 値上げ要因には一部重複を含む

食品分野別の値上げ品目数

	2024年			2023年	2022年
	1-10月 品目数	値上げ率	うち6月 品目数	1-10月	1-10月
加工食品	4,017	13%	329	11,832	9,211
調味料	1,272	16%	30	7,508	5,325
酒類・飲料	1,808	25%	28	6,098	4,794
菓子	610	16%	138	2,247	1,891
乳製品	179	12%	80	1,366	712
パン	34	9%	0	1,663	1,494
原材料	349	40%~	9	865	559

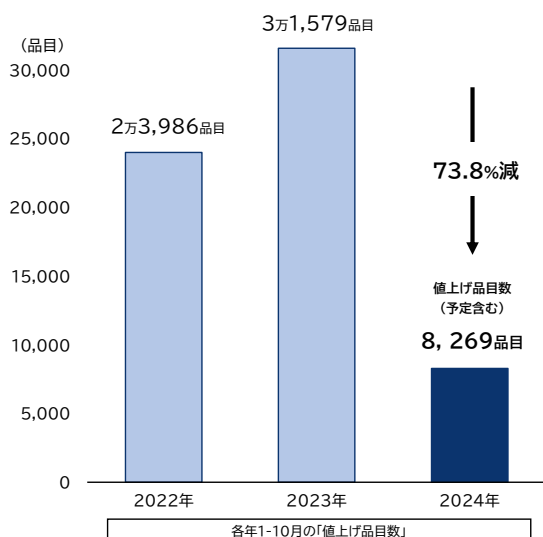
今後の見通し：「円安値上げ」が顕在化 年後半にかけてさらに拡大する可能性

大雨や猛暑、干ばつをはじめとする世界的な異常気象で、不作・凶作となった原材料の価格高騰を受けた値上げが広がっている。カカオ豆高騰の余波を受けたチョコレートのほか、主要生産国で不作が相次ぎ世界的な供給不足に直面したオレンジ果汁などで記録的な価格高騰が発生し、断続的な値上げや容量変更を余儀なくされた。いずれも局地的な「原材料高」に起因した値上げではあるものの、輸入原材料を多く使用する食品では今後、不作や地政学的リスクによる急激な価格変動リスクを織り込んだ値上げが進む可能性がある。

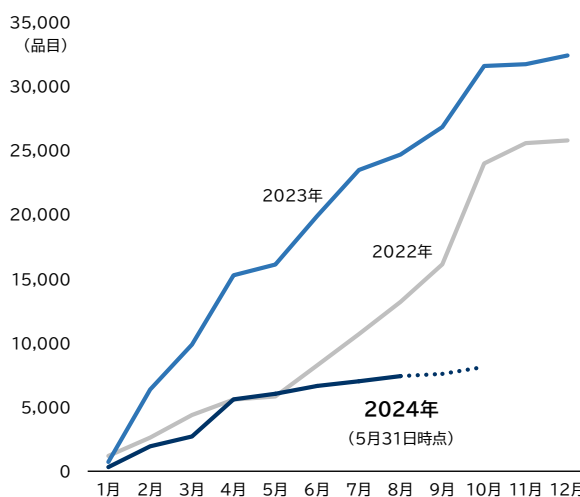
加えて、34年ぶりの安値となった円ドル為替相場は、2022年半ば～23年前半の値上げラッシュを引き起こした当時の円安水準を超えており、24年4月における円ベースの輸入物価指数は前年同月比6.4%の上昇となるなど影響が顕在化している。既に、24年通年の値上げ要因では全品目数のうち3割を「円安」が占めるなど影響力が増しており、今秋にかけて「円安値上げ」の割合がさらに高まる局面も予想される。

2024年後半の値上げは、店頭での値下げ圧力とコストアップの板挟みとなりながら、当面は月平均1千品目前後、年間で最大1.5万品目の値上げペースが続くとみられる。ただ、1ドル150円台後半の円安水準が長期化、または円安が一段と進行した場合、当初予想の品目数から上振れすることも想定される。

各年1-10月の「値上げ品目数」



実施ベースでの値上げ品目数累計 推移



【注】 破線部は今後の品目数変動が見込まれる期間

【注】 品目数および値上げは、各社発表に基づく。また、年内に複数回値上げを行った品目は、それぞれ別品目としてカウントした。値上げ率は発表時点における最大値を採用した。なお、価格据え置き・内容量減による「実質値上げ」も対象に含む

参考：月別の値上げ品目数推移

年月	食品分野別							単位:品目	
	合計	加工食品	調味料	酒類	菓子	乳製品	パン	原材料	
2022年	25,768	9,468	5,953	5,063	1,967	1,225	1,494	598	
2023年	32,396	11,838	8,052	6,175	2,270	1,533	1,663	865	
2024年	8,269	4,017	1,272	1,808	610	179	34	349	
2022年	10月	7,864	2,019	1,840	3,778	171	48	0	8
	11月	1,583	257	508	263	66	480	0	9
	12月	199	0	120	6	10	33	0	30
2023年	1月	723	382	180	9	84	0	7	61
	2月	5,639	3,137	1,394	797	209	20	3	79
	3月	3,503	1,776	478	496	613	19	27	94
	4月	5,404	2,275	1,022	948	316	769	0	74
	5月	837	180	169	388	40	31	29	0
	6月	3,775	1,612	1,674	94	158	37	6	194
	7月	3,595	836	619	32	242	41	1,591	234
	8月	1,197	202	409	47	179	360	0	0
	9月	2,148	541	1,257	89	213	39	0	9
	10月	4,758	891	306	3,198	193	50	0	120
	11月	139	5	39	77	18	0	0	0
	12月	678	1	505	0	5	167	0	0
2024年	1月	310	96	64	21	1	6	0	122
	2月	1,626	643	545	166	130	56	0	86
	3月	767	444	66	73	149	35	0	0
	4月	2,897	2,087	369	315	126	0	0	0
	5月	427	97	0	261	3	0	0	66
	6月	614	329	30	28	138	80	0	9
	7月	367	78	4	199	38	0	34	14
	8月	400	235	56	60	0	2	0	47
	9月	185	8	138	9	25	0	0	5
	10月	676	0	0	676	0	0	0	0
前年(同月)比		-	-	-	-	-	-	-	単位:%
2023年		25.7	25.0	35.3	22.0	15.4	25.1	11.3	44.6
2024年		△ 74.5	△ 66.1	△ 84.2	△ 70.7	△ 73.1	△ 88.3	△ 98.0	△ 59.7
2023年	1月	△ 39.2	-	△ 64.0	-	104.9	-	△ 98.9	1120.0
	2月	297.1	152.4	1809.6	-	596.7	150.0	△ 40.0	29.5
	3月	99.0	87.9	△ 38.2	2154.5	20333.3	375.0	-	683.3
	4月	348.8	490.9	773.5	13442.9	58.8	88.9	-	△ 16.9
	5月	233.5	-	131.5	2325.0	△ 74.7	-	-	△ 100.0
	6月	56.1	76.9	95.1	△ 69.8	△ 43.4	117.6	-	351.2
	7月	47.2	50.1	4661.5	△ 94.5	47.6	1266.7	94.3	△ 22.0
	8月	△ 52.4	△ 90.0	770.2	30.6	△ 54.5	-	△ 100.0	-
	9月	△ 26.4	△ 52.5	22.0	140.5	△ 53.0	△ 82.7	-	△ 75.7
	10月	△ 39.5	△ 55.9	△ 83.4	△ 15.4	12.9	4.2	-	1400.0
	11月	△ 91.2	△ 98.1	△ 92.3	△ 70.7	△ 72.7	△ 100.0	-	△ 100.0
	12月	240.7	-	320.8	△ 100.0	△ 50.0	406.1	-	△ 100.0
2024年	1月	△ 57.1	△ 74.9	△ 64.4	133.3	△ 98.8	-	△ 100.0	100.0
	2月	△ 71.2	△ 79.5	△ 60.9	△ 79.2	△ 37.8	180.0	△ 100.0	8.9
	3月	△ 78.1	△ 75.0	△ 86.2	△ 85.3	△ 75.7	84.2	△ 100.0	△ 100.0
	4月	△ 46.4	△ 8.3	△ 63.9	△ 66.8	△ 60.1	△ 100.0	-	△ 100.0
	5月	△ 49.0	△ 46.1	△ 100.0	△ 32.7	△ 92.5	△ 100.0	△ 100.0	-
	6月	△ 83.7	△ 79.6	△ 98.2	△ 70.2	△ 12.7	116.2	△ 100.0	△ 95.4
	7月	△ 89.8	△ 90.7	△ 99.4	521.9	△ 84.3	△ 100.0	△ 97.9	△ 94.0
	8月	△ 66.6	16.3	△ 86.3	27.7	△ 100.0	△ 99.4	-	-
	9月	△ 91.4	△ 98.5	△ 89.0	△ 89.9	△ 88.3	△ 100.0	-	△ 44.4
	10月	△ 85.8	△ 100.0	△ 100.0	△ 78.9	△ 100.0	△ 100.0	-	△ 100.0